

第一部総合ジェンダー分科会（第25期・第8回）
議事要旨

1. 会議名 第一部総合ジェンダー分科会（第25期・第8回）
2. 日時 令和4年10月14日（木）10：15～12：15
3. 会場 オンライン会議
4. 出席者 小島優子、後藤弘子、野口晴子、芳賀満、原田範行、二神枝保、三浦まり、三成美保、三尾裕子
5. 記録 三浦まり

6. 議題

（1） 前回議事録の確認

審議のうえ、承認された。

（2） 「言語、文学、文化、翻訳から見たジェンダー論」について原田範行の報告に基づき、議論した。

英語圏ではデータベースの構築が進み、デジタル・ヒューマニティーズが進展した結果、女性作家の見直しが起きている。日本においては人文系の大学院生の比率が諸外国と比べて著しく低く、①研究・高等教育、②教育全般、③文化全般、④グローバル化と翻訳の全般に渡って議論する必要がある。

「ポストコロナ時代の価値創出型言語文化とジェンダー的課題」をテーマにシンポジウムを来年夏頃に開催し、それを踏まえ「提言」へ繋げることを議論した。

（3） その他

難民支援について歴史学とジェンダーに関する分科会と協力して議論を進めることとした。12月後半～1月をめどに分科会を開く。